

科目 No.	21
授業科目名 (英語表記)	世界の経済 World Economy
授業の実施場所	オンライン授業に自宅等から参加
使用言語	日本語
単位数	2
開講時期	2月1日(月)～4日(木) (4コマ×3日、3コマ×1日) 〔1日～3日9:20～16:30、4日9:20～14:50〕
授業形態	講義 (アクティブラーニング形式あり、約50%)
受講者数	最少10人～制限なし
担当教員	帝京大学経済学部地域経済学科講師 宋 宇
開設大学	帝京大学
授業の内容	本講義の内容は三段階に分けて行います。まず、国際比較の観点から世界経済の全貌を確認します。その際、関連する経済用語について、経済学部でない学生でもわかるように平易に説明します。次に、近年、話題になっている国を事例国として取り上げ、海外の経済事情・出来事について一緒に考え、分析します。最後に、日本から出発し、日米関係、日中関係、日韓関係について、感情的に語るのではなく、そして経済分野のみならず、お互いの違いを理解し、メディアなどの解説に引き継がれなく、議論していきます。
教科書・参考書・ 教材等	教科書の指定は特にありません。下記の参考書に基づき講義内容を構成し、講義ノートを配布します。毎回、講義ノートを持参してください。 参考書： 山本和人・鳥谷一生(編)(2019)『世界経済論：岐路に立つグローバリゼーション』ミネルヴァ書房。 丸川知雄(2013)『現代中国経済』有斐閣アルマ。 梶谷懐(2016)『日本と中国経済—相互交流と衝突の100年』ちくま新書。 熊野剛雄(2019)『やさしい日本と世界の経済の話』新日本出版社。 渡邊哲也(2019)『～2021年「世界経済リスク」入門』徳間書店。 石川義孝(編)(2019)『地図でみる 日本の外国人 改訂版』ナカニシヤ。
成績評価	・集中講義のため、基本的に4日間の出席が評価の前提とします。 ・講義中の取り組み(30%)、講義内作業の完成度(40%)、最終日の講義内まとめ・レポート(30%)
学修上の助言	様々な情報(ネット、テレビなど)が流れている中、すぐにそのまま受け入れるのではなく、そもそも自分はどう思うのかを大切にしながら、さらに調べ、学び、問題を発見していき、自主的に学習していきましょう。社会はあなたの動きと訴えによって、変わっていき、そして発展します。